

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no  
**2**

TEL 0551-23-3008

FAX 0551-23-3013

チヨウホクドットコム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

## 「地域教育推進連絡協議会」 が開催されました

第1回峡北地区地域教育推進連絡協議会が6月29日(火)に北巨摩合同庁舎で開催されました。また、峡中地区地域教育推進連絡協議会が7月1日(木)に同じく北巨摩合同庁舎で開催されました。

### 峡北地区地域教育推進連絡協議会

協議、情報・意見交換、研修が行われました。協議では、今年度の役員が次のように決まりました。

会長 榊形昭平氏(韮崎市教育委員長)

副会長 井出武男氏(北杜市教育長)

副会長 佐藤京子氏(韮崎市保育所連合会長)

情報・意見交換では次のような情報や活動の報告がありました。

異校種や地域との交流・特別教育セミナー・地域支援部の活動(あげぼの支援学校)、40周年記念講演「親学のすすめ」(社団法人韮崎青年会議所)、活動内容(韮崎こすもす教室)、「親子ものづくり教室」(韮崎工業高等学校)

研修では、山梨県立大学教授堤マサエ先生による講演「少子化時代の人・地域づくり」が行われました。その要旨については次項をご覧ください。

### 峡中地区地域教育推進連絡協議会

全体会議、情報交換会、研修会が行われました。全体会議では、今年度の役員が次のように決まりました。

会長 比志保氏(中央市教育長)

副会長 牛奥久代氏

(甲府市女性団体連絡協議会長)

副会長 宮澤重夫氏

(甲府市小中学校PTA連合会長)

情報交換会では、次のような情報や活動の紹介がありました。

「郷育フォーラム」(社団法人甲府青年会議所)、「花より婚活」・「グリーン・スクール2010 in 伊奈ヶ湖」・「キッズタウン南アルプス」(社団法人南アルプス青年会議所)、青少年育成南アルプス市民会議の活動(南アルプス市教委)、「親子陶芸教室」・「親子農園」・教育振興大会・「キッズ・アカデミー」(中央市教委・カウンセラー・PTA協議会)、年間主要行事(甲府市小中学校PTA連合会)、総会・学習会(甲府市母と女性教職員の会)

研修会では、峡北地区と同様に山梨県立大学教授堤マサエ先生による講演「少子化時代の人・地域づくり」が行われました。

事後のアンケートの結果によれば、講演はわかりやすくなったと好評でした。情報や意見の交換には、有益であったとの声が寄せられました。

## 講演「少子化時代の人・地域づくり」(要旨) 山梨県立大学教授 堤マサエ 先生

### 少子化の進行と暮らしの変化

日本での少子化は1950年代前半以降に生じており高齢化よりも早く進行した。1989年には合計特殊出生率が丙午の年を下回る「1.57ショック」が起こり、少子化対策が始まった。

少子化の背景には、高学歴化、特に女性の高学

歴化、「女性は経済的に自立できるならあえて結婚する必要はない」といったような新しい結婚観、共働き家族の増加などの仕事の持ち方の変化、生活水準の向上がある。

少子化とともに人々の暮らしに多くの変化が起きた。女性の人生観が変わり、結婚して子ども

を産み育てることを第一に考えることがなくなり、一生をシングルで仕事に生きる、結婚しても子どもは持たないという考えも肯定されるようになった。子どもを産んで育てることよりも、多様な生き方を求めることが出てきた。新たな家族の問題として、ひとりっ子の増加、親戚が少なくなる、老親扶養、家督相続・家業継承が困難になるといったことが出てきた。少子化は国単位で人口構造にゆがみを生じることであり、人口減少を予測した社会のあり方を考え直さなければならなかった。

少子化が進んでいるが、欲しい子どもの数は現実の子どもの数よりも多い。子どもを安心して産み育てられる環境を整えることが社会的な課題になっている。



### 社会での子育てと家庭教育

家庭での子育ては、家族や地域の文化を伝承していくことである。また、子どもをしつける、つまり社会化をしていくことである。それゆえに社会の変化の中で家庭教育のあり方があらためて問われることになる。

子育てに関連したNPOをはじめとする諸団体が出来たり、様々な活動のネットワークがつくられたりして、子育ては閉じられた家族内だけで行なわれるものではなくなっている。社会に対して家族が開放的になって子育てを行なっていく状況が生じてきている。

こうした状況で家庭教育支援は、様々なライフステージ、家族・地域・学校などの様々な空間、母親だけではなく父親や祖父母、近隣、仲間といった様々な教育主体からなど多様な視点から行なうものでなければならない。

このような考え方から子育て支援と学校教育、社会教育との連携・総合化も重要である。

### 少子化時代に人が育つこと

人間関係の希薄化、生き方の多様化はますます進み、子育てが難しくなっている。

かつては「とりあげ親」、「仲人親」などの社会的親がいて、子どもの成長を助けた。現在では、親の役割は、血縁関係のある親、特に母親に集中している。今の時代に合う社会的な親の存在を考える必要がある。

「地域ぐるみの子育て」のために、まずは人づくりにより良好な人間関係をつくり新たな地域づくりをしていく必要がある。

様々な面で生活の質を求める時代になっているが、その一方で本当に重要なことを見落としてしまうこともある。家庭教育の基本は、子どもは手塩にかけて大切に育てるということである。かつての農村的なライフスタイル、スロースタイルが見直されている。



## お知らせ



◇地域教育推進連絡協議会の日程が決定しました。

峡中地区・峡北地区合同地域教育フォーラム

月日：10月26日(火)

会場：甲斐市 日本航空学園 J-ship ホール

第2回峡北地区地域教育推進連絡協議会

月日：2月17日(木)〈予定〉

会場：北巨摩合同庁舎

◇「中北地区『生涯学習ボランティアバンク』登録者一覧(平成22年度版)」を発行しました。

『生涯学習ボランティアバンク』は、優れた技術や特技を持った方々にボランティアとして登録していただき、生涯学習の場面で指導者になっていただ

く制度です。登録者一覧冊子を公民館、市町社会福祉協議会、小・中学校などに配付しました。

◇「中北地区異校種間授業参観『公開できる授業等一覧』」を発行しました。

中北地区の、小・中・高及び特別支援の各学校の連携を図るために公開できる授業等についてまとめました。中北地区内各学校に配付しました。

◇「中北地区 子育て相談窓口・教育相談窓口 案内」を発行しました。

子育てや教育についてお悩みの方が無料で相談できる機関についての情報を集約しました。保育所、幼稚園、小・中・高及び特別支援の各学校に配付しました。冊子の内容は当教育事務所のホームページでもご覧になれます。アドレスは次の枠内にあります。

平成22年度『中北.com』No.2

編集・発行

中北教育事務所地域教育支援スタッフ

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4

電話 0551-23-3008

ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。

アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>